

上水道事業の現状と料金改定についての住民説明会 第3回議事要旨

日 時 令和8年8月12日（水）14時00分～15時49分
場 所 文化センター1階多目的ホール
参加者 26人

【Q1】

審議会の会議録には町民に対して丁寧に説明するよう求める意見が一切書かれていませんが、そうした意見は無かったのでしょうか。

次に、議会の閉会中所管事務調査では、町民の理解を得るために丁寧な説明を行い慎重に対応するよう書かれていますが、これについてどのように考え、対応されたのでしょうか。

また住民に対する説明ですが、法的な義務は明記されていないものの、水道法や地方公営企業法、地方自治法などの規定から、情報提供義務や説明責任は必要と考えます。条例改正は否決され、多くの否決理由は分かるものの、説明の順序を誤ったのではないのでしょうか？

【A1】

審議会の答申書には、水道利用者への経営状況の理解促進や料金改定時の広報による周知が付帯意見として含まれており、審議会委員からも住民周知の話がありました。

閉会中の所管事務調査では、住民への周知を徹底するよう要請されましたが、過去の函南町や近隣自治体の料金改定では住民説明会を実施していないケースも多くあったため、議決後に周知する予定でした。

順番が違うのではないかとこの意見については、41.6%と改定率として大きいため、事前に住民説明会を開く必要があったと今は考えています。指摘は真摯に受け止めます。

【Q2】

今回の値上げが42%と非常に大きいですが、過去の審議会では所得状況や新型コロナウイルスの影響を考慮して値上げ幅を抑える議論があったのに対し、今回はそうした緩和の議論がなかったのはなぜでしょうか。

【A2】

水道事業審議会では、回収率100%を目指す29%の改定と、110%を目指す42%の改定案などが提示されました。函南町はこれまで回収率100%以上を維持してお

り、今後、国費の交付を受けるためには回収率 100%以上を保つ必要があると考えています。

また、ナフサショック前のシミュレーションのため 29%の改定でも回収率 100%に届かない可能性があり、110%目標の 42%改定は妥当であると考えています。段階的改定は国費申請の遅れや頻繁な改定を招いてしまうため、今回の 41.6%改定は必要なものと考えています。

【Q 3】

経営する側の説明は理解しましたが、住民としては今回の説明会の議事録が公表され、皆の了解を得たとされても納得できません。今回の大きな値上げはこれまでの対応不足が原因だと思いますが、その間に対策を取る余地はなかったのでしょうか。また、今後は毎年少しずつ値上げを議会に説明しながら進め、負担を分散する努力をすべきではないでしょうか。

【A 3】

今回 41.6%と大幅な料金改定になってしまうことについて、函南町の経営の努力が不足していた面は少なからずあると思います。

今後は計画的且つ定期的に料金改定を検討し、改定率を抑えるために定期的に取り組んでいきたいと考えています。

【Q 4】

今回の料金改定は 41%と大幅ですが、上水道のみの改定とのことで、下水道については何か変更や計画はありますか。

また、管路の更新や耐震化率がまだ低いと聞いていますが、耐震化率を 100%にし、耐用年数を過ぎた管路を全てゼロにするのはいつ頃を予定しているのでしょうか？

また、令和 7 年度の料金回収率についての最新の実績値があれば教えてください。

【A 4】

今回の料金改定は上水道のみですが、下水道も今年度下水道事業審議会を開催し料金改定の検討をする予定です。

管路更新については、函南町の上水道管路は 209km で耐震化率は 15.3%、耐震化が必要な 177km の管路を優先順位付けした計画で順次更新していますが、年間約 1.5 ～ 2 km を更新し、1 km あたり約 2 億円の費用がかかるため、全てを一度に更新するのは現実的でなく、重要な管路から優先して更新し、末端管路は事後保全として漏水修理で延命させていくことも現実的であり、経営のバランスを見ながら進めたいと考えています。

料金回収率の令和 7 年度見込値は 85.0%です。

【Q 5】

住民としては電気やガスなどと同様、重要なインフラですが、議会で否決されたことは、行政の運営に疑問を感じます。令和5年から7年にかけて収入は横ばいか微減で、支出が大幅に増えている理由は何でしょうか。

また、上下水道はセットで考えるべきだと思いますが、その点はどのようにお考えですか。

また、国交省が推進するDXの活用など、新技術導入の検討はありますか。

さらに、長泉町は料金が安く運営できているが、他自治体の分析などはしていますか。それを踏まえて地域での合併運営なども検討していますか。

【A 5】

まず令和5年度以降、ロシア・ウクライナ戦争で資材単価が上昇したことや、第1浄水場の更新工事による減価償却費増加などが経費増加の主な要因と考えています。

上下水道は住民にとって切り離せないライフラインであり、埼玉県八潮市の事故もあったり、国も広域化を推進している中で、函南町も上水道と下水道は一体的に取り組むべきと考えています。水道と下水道の審議会についても、現在別々の条例のものを統合する検討も今後は考えていきたい。

またDXの導入については、複数市町と連携して管路劣化診断や衛星画像による漏水予測の検討はされており、国の補助金も活用しながら導入に向けて取り組んでいきたいと考えています。

長泉町の料金が低いことについては、人口密度や浄水方法など条件が異なるため全てを真似ることは難しいが、近隣自治体と情報交換や勉強会を重ね、改善努力をしていきたい。

【Q 6】

水道事業だけでなく行政運営全体に問題があると思います。長泉町は人口が増えているのに対し、函南町が減っている原因をどう分析し、対策していますか。人口減少による収入減を当たり前とせず、責任を持って対応しているのでしょうか？また、庁舎の償却費や経常収支比率の悪化についても原因を反省し、改善に向けて取り組んでほしい。

【A 6】

函南町は人口減少が続く中、これまで個人所得に頼り企業誘致にはあまり積極的ではありませんでした。しかし現在は、移住・定住促進や企業誘致に向けて積極的に取り組み始めており、人口減少の歯止めになるかは不明ですが、今後も継続的に努力していく考えです。

【Q 7】

料金設定について、基本料金と使用量料金を合算した形ですが、少量しか使わない高齢の一人暮らし世帯にとって基本料金が負担になるのではないのでしょうか。今後、少子高齢化で一人暮らし高齢者が増える中、そうした世帯に配慮した料金設定は検討されていますか。

【A 7】

今回の料金改定案では、基本料金と超過料金を一律に約 41.6%改定する方針ですが、前回の改定時には、少量使用者の負担軽減を目的に従量料金の比重を大きく改定しました。今回もまた超過料金を多く上げると基本料金との格差が広がるため、一律改定で審議会の意見がまとまりました。

【Q 8】

審議会のメンバー選定方法について立候補制抽選制の方法は採用されないのでしょうか。

また、高齢者や生活困難な方への配慮はあるのか教えてください。

【A 8】

水道事業審議会の委員は議会、水道利用者、学識経験者から構成されており、水道利用者は各浄水場のエリアから満遍なく選ぶよう配慮していますが、今後は公募による選出も検討したいと考えます。

生活困窮者への配慮については、基本料金と超過料金の差を一定程度設け、一人暮らしや生活困窮者に配慮した料金設定を行っています。また、滞納整理では給水停止前に電話や対面で丁寧に相談し、分割払いなど柔軟な対応を心掛けており、ある日突然水を止めるということにはせずに配慮しながら取り組んでいます。ただし、料金の徴収は必要なため、丁寧に取り組んでいきます。

【Q 9】

どういう理由で否決されたのか、あるいは議会からの提言について教えてください。

また、説明資料 11 ページの給水変動グラフを見ると、人口減少に伴い収入が減り令和 18 年頃に大きなマイナスが予想されますが、その対策や必要な対応についてどう考えていますか。

【A 9】

41.6%と大幅な改定率の中で、議会に議案を上げる前に住民に説明しなさいという意見であり、料金改定せざるを得ない状況は理解できるものの、段階的にであったり、区長会や住民説明会の実施について意見がありました。

人口減少のシミュレーションについては、企業誘致や移住促進にも取り組んでおり、人口減少が進めば水道事業だけでなく町全体の存続にも影響があるため、総合的な対策が必要であると考えています。

【Q10】

今の説明ですと議会からの回答としては、住民への説明が足りないなどの理由で否決と。逆に議会の方から打開策としてこういうことはできないのかとか提案とか、そういったことはなかったのでしょうか。

【A10】

提案としては、41.6%の改定率だと大きいので段階的にという要望はありました。段階的にとありましたが、説明させていただいた国費をもらうために手を挙げていきたいというのもあり、今回 41.6%の改定に関しては、令和 11 年度の改定ですとか、そういったところで段階的に少しずつ改定をして、改定率を抑えながら段階的に改定していきたいと考えています。